

まちづくり交付金 フォローアップ報告書

須坂中央地区

平成24年4月

長野県須坂市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等	理由	改善策の方向性	総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み							
指標1 交流人口 (まゆぐらの利用者数)	人/年	8,500人/H16	9,800人/H22	9,500	確定 見込み	△ ○	あり なし	9,548	H24年4月	△		■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	事業の実施により、目標とした数値を概ね達成できた。	
指標2 空き店舗活用 (空き店舗数)	店	33店/H16	25店/H22	35	確定 見込み	× ○	あり なし	35	H24年4月	×		■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	「わざわざ店舗助金」等の活用により、増加傾向に歯止めがかかったが、減少までには至らない。	
指標3 町並みフェスト (クラシック美術館、笠鉾会館の入館者数)	人/年	1,699人/H16	2,000人/H22 (H22休止)	0	確定 見込み	× ○	あり なし	0	H24年4月	×		■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	活動団体の弱体化等により、事業が休止となった。	
指標4 来街者数 (須坂市動物園の有料入園者数)	人/年	50,503人/H16	60,000人/H22	100,000	確定 見込み	○ ○	あり なし	78,166	H24年4月	○		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	多彩なイベントの開催や情報の発信等により、須坂市の魅力向上に貢献している。	
指標5 避難所・避難場所 (須坂市地域防災計画)	所	25か所/H16	31か所/H22	31	確定 見込み	○ ○	あり なし	31	H24年4月	○		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	事業の実施により、計画的な整備が図られた。	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等	理由	改善策の方向性	総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み							
その他の数値指標1 旧上高井郡役所利用者数	人/年	0/H16		17,000	確定 見込み			19,013	H24年4月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	利用者数が増加しており、街なかへの回遊性が向上した。	
その他の数値指標2 観光交流センター利用者数	人/年	0/H16		14,000	確定 見込み			20,080	H24年4月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	利用者数が増加しており、街なかへの回遊性が向上した。	
その他の数値指標3					確定 見込み				H 年 月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる		

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	・歩行空間の快適性、安全性の向上	・市道の歩道段差解消、交差点改良、道路改良、道路整備の実施	・歩道の段差解消などで快適性や安全性の向上が図られた。	・市街地内を円滑に移動できる機能を持つ道路整備や道路改良を進めていく。
	・防災施設の整備、機能の向上	・避難所、予備避難所への指定 ・防災マップ(地震防災マップ、洪水・土砂災害ハザードマップ)の作成	・「防災マップ」の全戸配布を行い、地域の自主防災組織の構築をするなど市民の防災に対する意識向上につながった。	・地域防災計画に基づく、避難施設への追加指定、耐震化などを進めていく。 ・自ら災害に備えるための手段を講じ、自発的な防災活動に参加するなど市民が進んで防災に寄与する体制づくり
	・魅力ある臥竜公園の整備及び交流の促進	・須坂市動物園交流施設などの整備	・情報の発信(徹底した宣伝・広報の実施)を行うことで、施設の意識改革と利用者の利便性の向上につながった。	・常に外部へのPRを絶え間なく行う。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	・歴史的建造物の有効活用 ・空き店舗の解消 ・来街者を街なかに誘導するための取組み	・須坂市歴史的建物維持保存活用検討委員会の立ち上げ	・貸し借りしやすい仕組みづくり、登録制度の創設、補助制度の創設などを行った。	・歴史的建物を活用したネットワークの立ち上げ
	・須坂市防災計画における、物資輸送拠点の整備	・フォローアップ時点では、具体的に実施した内容はありません。	-----	・地域防災計画に基づき、大規模災害が発生した際の円滑な緊急輸送を支援する物資の集積、配分を行う拠点としての施設整備を行う。
	・さらに魅力ある公園とするため、来園者への情報の提供や臥竜公園周辺一帯の施設整備	・臥竜公園魅力向上検討会による検討	・臥竜公園周辺の各種イベントの企画及び実施 ・桜守りの会による桜の保護 ・ふれんZooすざかによる協働など、臥竜公園の魅力向上に関係者を交えて取り組みを行った。	・常に外部へのPRを絶え間なく行う。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的な内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
・歴史的な町並みの保存(景観計画の策定)	・歴史的町並みや自然風景などの景観を活かしたまちづくり (景観づくりやそのための行為の制限を定めた須坂市独自の景観計画の策定)	H24～H25	・市民との共創によるルールづくり